

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・福崎町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化																																													
3 実施計画の名称	福崎町文化遺産活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度																																														
4 実施計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度																																															
5 実施計画の概要																																																
<p>・兵庫県歴史文化遺産活用ガイドラインを踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、次の取組を実施する。また、計画期間中、以下の取組を通じて、福崎町と関係団体による連携・協力体制の確立を目指す。また、伝承事業については、多くの住民が文化活動へ積極的に参加し、活性化を期待するとともに、用具修理については、文化遺産の価値が広く共有され、修繕を行うことにより住民が誇りと愛着をもつことができるよう事業計画を行う。</p> <p>(1) 伝統芸能（神積寺追儺式、桜獅子舞）の所作伝承事業 (2) 継承のために用いる用具の修理</p>																																																
6 実施体制																																																
<p>・本事業については、福崎町が全体計画の企画、調整、事業の指導を行う。 福崎町教育委員会社会教育課：文化財の取扱い等に関する指導、事業に関する調整等</p> <p>また、事業実施については、次の団体が実施。 福崎町文化遺産活性化実行委員会（会長：長澤秀人）</p> <p>・構成団体</p> <table border="0"> <tr> <td>①妙徳山神積寺追儺式保存会</td> <td>②桜獅子舞保存会</td> <td>③長目秋祭り保存会</td> </tr> <tr> <td>④八反田区秋祭り保存会</td> <td>⑤井ノ口屋台保存会</td> <td>⑥北野屋台保存会</td> </tr> <tr> <td>⑦田尻区祭り保存会</td> <td>⑧大門屋台保存会</td> <td>⑨東大貫まつり保存会</td> </tr> <tr> <td>⑩余田祭り保存会</td> <td>⑩庄祭り保存会</td> <td>⑫新町祭禮保存会</td> </tr> <tr> <td>⑬馬田太鼓保存会</td> <td>⑭駅前祭り保存会</td> <td>⑮福田祭り太鼓・囃子保存会</td> </tr> <tr> <td>⑯板坂区秋祭り屋台保存会</td> <td>⑰西谷区自治会</td> <td>⑰和楽芸能保存会</td> </tr> <tr> <td>⑱西野祭り保存会</td> <td>⑱加治谷祭り保存会</td> <td>⑲高橋太鼓保存会</td> </tr> <tr> <td>⑳辻川区</td> <td>㉓南大貫自治会</td> <td>㉔西大貫自治会</td> </tr> <tr> <td>㉕神谷屋台保存会</td> <td>㉖西山稲荷幟芸保存会</td> <td>㉗辻川祭り太鼓保存会</td> </tr> <tr> <td>㉘余田大歳神社浄舞保存会</td> <td>㉙山崎祭り太鼓保存会</td> <td>㉚鍛冶屋祭り保存会</td> </tr> <tr> <td>㉛常住寺盆踊り保存会</td> <td>㉜伝統文化を残そう会</td> <td>㉝西谷区自治会</td> </tr> <tr> <td>㉞福田八朔祭り保存会</td> <td>㉞恵美須神社奉納相撲伝承会</td> <td>㉞熊野神社浄舞保存会</td> </tr> <tr> <td>㉟吉田区</td> <td>㉟中島区</td> <td>㉟鍛冶屋区</td> </tr> <tr> <td>㊱福崎町文化協会</td> <td>㊱福崎町観光協会</td> <td>㊱福崎町教育委員会</td> </tr> <tr> <td>㊲福崎町</td> <td>㊲学識経験者</td> <td>㊲その他福崎町文化遺産関係団体</td> </tr> </table>				①妙徳山神積寺追儺式保存会	②桜獅子舞保存会	③長目秋祭り保存会	④八反田区秋祭り保存会	⑤井ノ口屋台保存会	⑥北野屋台保存会	⑦田尻区祭り保存会	⑧大門屋台保存会	⑨東大貫まつり保存会	⑩余田祭り保存会	⑩庄祭り保存会	⑫新町祭禮保存会	⑬馬田太鼓保存会	⑭駅前祭り保存会	⑮福田祭り太鼓・囃子保存会	⑯板坂区秋祭り屋台保存会	⑰西谷区自治会	⑰和楽芸能保存会	⑱西野祭り保存会	⑱加治谷祭り保存会	⑲高橋太鼓保存会	⑳辻川区	㉓南大貫自治会	㉔西大貫自治会	㉕神谷屋台保存会	㉖西山稲荷幟芸保存会	㉗辻川祭り太鼓保存会	㉘余田大歳神社浄舞保存会	㉙山崎祭り太鼓保存会	㉚鍛冶屋祭り保存会	㉛常住寺盆踊り保存会	㉜伝統文化を残そう会	㉝西谷区自治会	㉞福田八朔祭り保存会	㉞恵美須神社奉納相撲伝承会	㉞熊野神社浄舞保存会	㉟吉田区	㉟中島区	㉟鍛冶屋区	㊱福崎町文化協会	㊱福崎町観光協会	㊱福崎町教育委員会	㊲福崎町	㊲学識経験者	㊲その他福崎町文化遺産関係団体
①妙徳山神積寺追儺式保存会	②桜獅子舞保存会	③長目秋祭り保存会																																														
④八反田区秋祭り保存会	⑤井ノ口屋台保存会	⑥北野屋台保存会																																														
⑦田尻区祭り保存会	⑧大門屋台保存会	⑨東大貫まつり保存会																																														
⑩余田祭り保存会	⑩庄祭り保存会	⑫新町祭禮保存会																																														
⑬馬田太鼓保存会	⑭駅前祭り保存会	⑮福田祭り太鼓・囃子保存会																																														
⑯板坂区秋祭り屋台保存会	⑰西谷区自治会	⑰和楽芸能保存会																																														
⑱西野祭り保存会	⑱加治谷祭り保存会	⑲高橋太鼓保存会																																														
⑳辻川区	㉓南大貫自治会	㉔西大貫自治会																																														
㉕神谷屋台保存会	㉖西山稲荷幟芸保存会	㉗辻川祭り太鼓保存会																																														
㉘余田大歳神社浄舞保存会	㉙山崎祭り太鼓保存会	㉚鍛冶屋祭り保存会																																														
㉛常住寺盆踊り保存会	㉜伝統文化を残そう会	㉝西谷区自治会																																														
㉞福田八朔祭り保存会	㉞恵美須神社奉納相撲伝承会	㉞熊野神社浄舞保存会																																														
㉟吉田区	㉟中島区	㉟鍛冶屋区																																														
㊱福崎町文化協会	㊱福崎町観光協会	㊱福崎町教育委員会																																														
㊲福崎町	㊲学識経験者	㊲その他福崎町文化遺産関係団体																																														
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり																																														
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 54,735 千円	平成31年度申請額： 2,095 千円																																													
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり																																														

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

（1）伝統芸能の所作伝承事業

- ①古くから伝わる民俗芸能の所作や技術を研修伝授し、向上を図ることにより、民俗行事を活性化する。
- ②町外から民俗行事を観覧する人が増加することが期待でき、観光振興に寄与する。
- ③技術の向上により、保存会会員や地域住民の保存伝承に対する意欲や意識が高まり、後継者養成に結びつく。
- ④民俗芸能の披露により、地域文化遺産活用の機運を高め、福崎町の文化遺産としての誇りを維持する。
- ⑤古くから伝わる伝統芸能を肌で感じ、伝承していくことで、地域の絆を深め、地域住民の文化意識向上に繋げる。

（2）継承のために用いる用具の修理

- ①町外から祭礼行事を観覧する人が増える。
- ②修理により、祭礼行事参加者の安全性が高まる。
- ③修理した祭り屋台等を祭礼行事で継承していくことにより、地域の文化遺産の活用の機運を醸成する。
- ④祭礼行事が活性化し、地域への愛着や誇りが生まれ、地域の絆・団結をいっそう深める。
- ⑤修理現場の公開により、祭り屋台の技法や文化財的価値を学び、文化遺産に対する若い世代の興味を深める。
- ⑥本事業とあわせて伝統文化親子教室事業を実施し、よりいっそう文化遺産の活性化に繋げる。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	特にありません。
事業概要：	特にありません。
事業概要：	特にありません。

11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

「文化財保存活用地域計画」の作成と並行して行う地域の文化財の調査に関する事業については、必要性は認識しており、取り組みに向けた準備作業を進めています。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	福崎町教育委員会 社会教育課
-----------------	----------------

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分1:	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	成人の日に神積寺追儺として盛大に開催される民俗行事の松明配布人数	関連事業:	①			
目標値1:	【現状値】平成29年度 250人 ⇒ 【目標値】平成33年度 350人					
設定根拠1:	行事は町内外に広く周知されており、目標値は1.2倍を設定					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
250人	200人	人	人	人	人	
0%	-50%					
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	秋季例大祭(第1日目:宵宮、第2日目:本宮)の宵宮に桜区公民館で演舞を披露する際の観覧者数	関連事業:	②			
目標値2:	【現状値】平成29年度 140人 ⇒ 【目標値】平成33年度 180人					
設定根拠2:	若年層の演舞者が出てきてはいるが、人口が少ない地域であるため、観覧者数は微増を設定					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
140人	140人	人	人	人	人	
0%	0%					
目標区分3:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分3:	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	秋季例大祭の中で保存会が練りを披露する際の観覧者数	関連事業:	③~⑬			
目標値3:	【現状値】平成29年度 1,042人 ⇒ 【目標値】平成33年度 1,245人					
設定根拠3:	秋季例大祭の中で保存会が練りを披露する際の観覧者数により、伝統行事の活性化の指標とするため。					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
1,042人	1,267人	人	人	人	人	
0%	111%					

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	神積寺追儺式所作伝承事業					実施団体：	神積寺追儺式保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	鎌倉時代より伝承されてきたと伝える妙徳山神積寺の追儺式（福崎町指定重要民俗文化財）の邪気を払う舞、太鼓、法螺貝、鐘、松明作り等の技術向上のため、保存会会員を対象とした講習会・研修会・練習会を開催し、後継者の育成、所作の伝承を行う。また、これまで、追儺式行事による地域文化遺産の活用により、福崎町の文化遺産としての誇りが堅持できており、子どもたちに伝承していくことにより地域の絆を強め地域住民の文化意識の向上に繋がっている。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	成人の日に東田原にある妙徳山神積寺の追儺式（鬼追い）として盛大に開催される民俗行事の松明配布人数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 250 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 350 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
250 人	200 人	人	人	人	人						
0%	-50%										
事業②：	桜の獅子舞保存継承事業					実施団体：	桜獅子舞保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	江戸時代後期から伝承されてきたと伝える桜地区の獅子舞（福崎町指定民俗文化財）の舞、笛等の技術向上のため、保存会会員等を対象とした練習会を開催し、後継者の育成、所作の伝承を行う。当獅子舞は昭和52年頃に復活し、町指定民俗文化財に指定されたが、継承者の不足により近年中断したが、再度の復活を目指して活動を行っている。高齢者の指導により30～40代、5歳児から小学生が参加し、桜区民が楽しみにされている。また、少しずつ技術は向上している。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	秋季例大祭（第1日目：宵宮、第2日目：本宮）の宵宮に桜区公民館で演舞を披露する際の観覧者数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 140 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 180 人										
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
140 人	140 人	人	人	人	人						
0%	0%										

事業③：	長目屋台太鼓修理事業	実施団体：	長目秋祭り保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	熊野神社秋季例大祭で使用している祭り屋台の太鼓が長年の使用により、革が伸びたところや傷がついたところができ、使用する際に場合によっては破れることとなるため、平成29年度に太鼓の革を両面交換修理し、合わせて、修理現場の一般公開を実施した。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	秋季例大祭の中で長目区が練りを披露する際の観覧者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 95 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 95 人				
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
95 人	95 人	人	人	人	人
#DIV/0!	#DIV/0!				
事業④：	神谷布団屋台修理事業	実施団体：	神谷屋台保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	二之宮神社並びに大歳神社秋季例大祭に使用している神谷布団屋台の屋根の部分が、長年の使用による色落ちや汚れが見られ、屋台のシンボルとなる色の維持ができなくなっていた。平成29年度は取り付けている装飾を取り外し、屋根部分の生地の染め直しを行った。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	秋季例大祭の中で神谷区が練りを披露する際の観覧者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 62 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 65 人				
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
62 人	60 人	人	人	人	人
0%	-67%				
事業⑤：	高橋屋台太鼓修理事業	実施団体：	高橋太鼓保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要：	平成29年度は屋台太鼓修理を行い、屋台については、長年修理をしてきたが、金具には一部欠落や落下し取り付け不能なものもある。釘の緩みなどもあり金具落下の危険がある。擬宝珠等は一度修理できたが、取り外し困難な金具類は対応できていない。当金具はシミや鍍金が剥げて下地の色が出ている。年々錆び付き、亀裂により怪我をする可能性があるため、すべての金具に再度銀メッキを施す。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	秋季例大祭の中で高橋区が練りを披露する際の観覧者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 110 人				
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
100 人	100 人	人	人	人	人
0%	0%				

事業⑥：	北野屋台太鼓修理事業					実施団体：	北野屋台保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	屋台太鼓の革が、長年の使用によりささくれた部分があり太鼓の鳴る音が小さくなっている。3台で練り合わせる際、北野太鼓の音が聞き取りにくく木方が拍子木を入れるタイミングが取れず大変危険な場面があり、屋台の運行に支障が出ているため、平成29年度に革の両面張替えを行った。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	秋季例大祭の中で北野区が練りを披露する際の観覧者数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 80 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 80 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
80 人	80 人	人	人	人	人						
#DIV/0!	#DIV/0!										
事業⑦：	井ノ口屋台修理事業					実施団体：	井ノ口屋台保存会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	井ノ口区は年々高齢化が進み、乗子子の数も減少している。しかし、秋季例大祭への参加の効果もあり、少数ではあるが若い世代の帰郷、復帰が見られるようになってきた。今回の修理により、地域住民の士気の向上を図るとともに他地区との交流も含め、井ノ口区の活性化に繋げたい。修理内容は、泥台の組み直し。泥台の足の金具は塗装が剥げ錆も出てきているので塗装をし直す予定。鉄筋については使用できるものは叩き直し、交換が必要な場合は、同素材の適した鉄筋にする。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	秋季例大祭の中で井ノ口区が練りを披露する際の観覧者数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 55 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 55 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
55 人	62 人	人	人	人	人						
#DIV/0!	#DIV/0!										

事業⑧：	田尻屋台太鼓修理事業	実施団体：	田尻区祭り保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	昨年度秋例大祭に向けての乗り子の太鼓練習で太鼓の皮が破損した。修理には時間を要するため、破損箇所の上に皮を貼り付ける応急措置を講じて何とか太鼓練習を行うことが出来た。今年度の秋例大祭に向けて、乗り子たちの太鼓の練習に供するため、太鼓の皮の修理張り替えを行う。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	秋季例大祭において熊野神社で田尻区が練りを披露する際の観覧者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 110 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 130 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
110 人	150 人	人	人	人	人
0%	200%				
事業⑨：	庄屋台修理事業	実施団体：	庄祭り保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	庄屋台は、反り屋根屋台として江戸時代よりあったと言われている。現在の屋台が3代目であり、大正13年より使用されている。約100年前に屋台を新調し長年使用してきたが屋根部分が長年の使用により損傷が激しく、行事に使用するには危険があるため、解体し修理する。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	秋季例大祭の中で庄区が練りを披露する際の観覧者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 150 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
100 人	160 人	人	人	人	人
0%	120%				
事業⑩：	福田屋台修理事業	実施団体：	福田祭り太鼓・囃子保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	福田屋台は反り屋根型で屋根に天幕を使用しており、約10年に渡り使用してきたが、表面の変色、ほつれ、破れ等の損傷が生じている。また、刺繍提灯・手綱も約20年使用しており、房の脱落、紐の糸切れ、ほつれが生じている。そのため、祭礼行事での使用に支障をきたし、今後の使用、維持保存が困難な状況となっている。この度、屋台の天幕、提灯用くりひも、提灯用房、手綱ひもが損傷しているため、取り替える。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	秋季例大祭の中で福田区が練りを披露する際の観覧者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 80 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 100 人				
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
80 人	100 人	人	人	人	人
0%	100%				

事業⑪：	鍛冶屋区布団屋台修繕事業	実施団体：	鍛冶屋区			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	昭和30年頃に姫路市白浜町妻鹿地区の中古屋台を譲り受け、地域住民の協力によって修理、修復をしながら、現在まで大切に使用してきた。しかしながら、年月の経過で各箇所への痛みが多く、近年では平成11年に泥台、本棒、脇棒、高欄等の修繕を行い現在に至っている。この度は、長年の使用による4本柱と布団屋根の劣化。布団屋台、三軒垂木、格子天井の修繕を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	秋季例大祭の中で鍛冶屋区が練りを披露する際の観覧者数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 150 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 200 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
150 人	250 人	人	人	人	人	
0%	200%					
事業⑫：	大門屋台布団屋根・斗組修理事業	実施団体：	大門屋台保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	田原郷熊野神社秋季例大祭に練り出される大門区布団屋台の屋根が屋根と泥台を繋ぐターンバックルの疲労変形により使用中に屋根が落下破損。現状のままでの安全運行が困難であるため、一度解体し、新しい部材に取り替え組み直す。修理一般公開は8月3・4日とする。修理は9月末までに完了させ、10月5・6日に地区の方々に披露する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	秋季例大祭の中で大門区が練りを披露する際の観覧者数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 150 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
100 人	100 人	人	人	人	人	
0%	0%					
事業⑬：	東大貫屋台梵天修理事業	実施団体：	東大貫まつり保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	天満神社の秋季例大祭で使用している祭り屋台の飾り物(梵天)の修理(1面1対2個)を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	秋季例大祭の中で東大貫区が練りを披露する際の観覧者数					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 110 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 110 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
110 人	110 人	人	人	人	人	
#DIV/0!	#DIV/0!					